

福井県立児童科学館「太陽と風の砦」



屋根材一体型の太陽電池パネルを採用し曲線屋根に応用したデザイン性の優れた建築物と風力発電設備を配置した設置例である。太陽光と風エネルギーは、常時系統連系されており自然エネルギーを上手に利用している。その仕組みや状態は、太陽電池の設置してある建物の中で楽しく学ぶ事ができるようになっている。

今後、いろいろなエネルギーの有効活用が検討されることになるが、本科学館のように太陽光と風を感じながら、

身近なエネルギーを体験できる設備は全国にも例が無く子供達を中心に多くの人を訪れる施設となっている。

福井県	
所在地	福井県坂井郡春江町
システム	系統連系型
太陽電池容量	8kW
種類	アモルファス (屋根材一体型エネルギー供給設備事業)
設置年度	1997年度 (環境調和型)